

別紙 評価項目及び評価基準表

評価項目		採点 a	加重 評価b	配点 a×b	評価基準(着眼点)	評価(審査)に係る提出書類
Ⅰ 業務実績	1 母子父子寡婦福祉資金貸付金債権回収等業務の実績	最高 3点	—	3点	告示日を起点とした過去5年間における同業務の実績数に応じて加点 ①1件:1点、②2件:2点、③3件以上:3点	・業務実績調書(様式2) ・契約書の写し等、業務概要がわかる資料
	2 国や地方公共団体等における類似業務実績	最高 3点	—	3点	告示日を起点とした過去5年間における類似業務の実績数に応じて加点 ①1件:1点、②2件:2点、③3件以上:3点	
	3 過去の類似業務における業務適正履行の状況	最高 4点	—	4点	告示日を起算点とした過去5年間における類似業務において、債務者等との争訟等トラブルの有無及びその対応状況に応じて加点 ①提案者が起因となってトラブルが発生し、事後対応を経ても、回収委託業務に支障が生じた。0点 ②提案者が起因となってトラブルが発生したが、事後の適切な対応により、回収委託業務への支障は最小限に留めた。2点 ③提案者が起因となるトラブルは発生していない。4点	
Ⅱ 業務計画案	1 業務の実施体制(5段階評価)	最高 10点	×2倍	20点	・責任者及び従事者は業務をするうえで、必要な資格や知識、経験を有しているか ・企画提案内容を確実かつ迅速に実施できる体制、人員が確保されているか	【5段階評価】 特に優れている・・・10点 or 5点 優れている・・・8点 or 4点 普通・・・6点 or 3点 やや不十分・・・4点 or 2点 不十分・・・2点 or 1点 ・業務実施体制(様式3)
	2 業務スケジュール	最高 5点	—	5点	明確かつ現実的なスケジュールとなっているか	・業務スケジュール(様式任意)
Ⅲ 企画提案	1 業務内容の理解度(5段階評価) (※1 選定に係る特定評価項目)	最高 10点	×2倍	20点	業務内容や課題等を十分に理解し、本業務に取り組むうえで、債務者の経済状況等の把握など、福祉的観点からも配慮がされた提案となっているか	【5段階評価】 特に優れている・・・10点 or 5点 優れている・・・8点 or 4点 普通・・・6点 or 3点 やや不十分・・・4点 or 2点 不十分・・・2点 or 1点 企画提案書(様式任意)
	2 具体的な企画提案内容(5段階評価) (※1 選定に係る特定評価項目)	最高 10点	×2倍	20点	・適格性:業務の目的を達成するにあたり、必要かつ効果的な提案となっているか ・実現性:具体的かつ実現性のある提案となっているか ・効率性:独自のノウハウや工夫により、効率的な催告・回収を行う提案となっているか ・危機管理:苦情の未然防止策や、発生時の適切な対応体制が明確に示されているか	
	3 個人情報の保護体制(5段階評価)	最高 10点	—	10点	・情報セキュリティに関し、組織的な取組が実施されているか ・個人情報の管理方法及び管理体制が確保されているか	
	4 独自提案(5段階評価)	最高 10点	—	10点	その他、本業務の成果をより効果的なものにする提案や工夫が認められるか	
	5 積算額	最高 5点	—	5点	提案内容に対して経費積算は妥当か 委託する回収対象債権に対する回収率や成功報酬率は妥当か	
委員1人当たりの配点合計(A)				100点		

※1 「選定に係る特定評価項目」は、契約候補者となるべき評価点の同じの者が2名以上いる場合に、候補者の選定にあたり評価点の合算値をもって比較する項目を示す。

※2 審査(評価)事務を円滑にかつ早期に審議する目的から、評価点の満点等にあつては、評価に携わった実際の委員(出席者)数によって変動する場合がある。